



ガバナー挨拶

国際ロータリー第 2830 地区
2024-25 年度 ガバナー

花 田 勝 彦
五所川原 RC

2008-09年度山崎淳一ガバナーが「地区ロータリアン必携」として地区内全ロータリアンに配布する冊子を発行して以来、歴代のガバナーが受け継いできた「地区要覧」を、今年度も発行することができ、まずは皆様に感謝申し上げます。

今年度の地区要覧は、ロータリアンの皆様にとって有用な情報を盛り込んだQRコード集を掲載いたしました(P20)。そして、長らく規定の整備が進んでいなかった地区資金規定と要綱を大幅に見直し、条項の整合性や文言の統一性を踏まえて、整理させていただきました。地区研修協議会において会長エレクトによる承認が得られることを条件に、この地区要覧に規定案として掲載していることをご了承いただきたいと存じます。

さて、私は、2024年1月7日から11日まで、アメリカフロリダ州オーランドで開催された国際協議会に参加いたしました。この国際協議会で、志を同じくする世界中の多くの友人と出会い、同じ時間を過ごしたことによって、ロータリーが大好きになって帰ってまいりました。ガバナーに就任するための燃えるようなエネルギーをいただけてきたと感じています。

ステファニー・A・アーチックRI会長は、2024-25年度のRIテーマとして、「ロータリーのマジック」を掲げられました。このマジックを生み出すのは、私たち一人一人のロータリアンの思いやりと信念に基づく行動です。

そして、アーチック会長が最優先課題としてあげられたのは、会員増強を図る行動計画を推し進めることです。会員増強については、地区当たり100名の増員かつ4つの新クラブの設立という数値目標を提示されています。行動計画(アクション・プラン)については、2019年から5年計画の最終年に当たります。「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」という4つの優先事項は、我々ロータリアンが進むべき方向性と位置付けています。これを具体的実現するための数値目標が、「3-Year Rolling Targets」です。これまで単年度で入力されていた「クラブセントラル」を3年間の継続性を持ったものとして各クラブが実践していくことが期待されています。その結果として、魅力ある(Simply Irresistible)クラブづくりを実現して、多くの会員増強に繋げていくというわけです。

第2の優先事項は、積極的平和を通じて分断された世界を癒やすことです。ここでは、おなじみの「四つのテスト」の実践のほか、ピースポール(平和の柱)プロジェクトを紹介し、ロータリー平和センターを通じて平和の構築を呼びかけています。

最後に継続性です。これはリーダーが前任者、後任者と協力することと、クラブが取り組んできたことや根付いてきたことに目を向けることです。

次年度の地区スローガンとして掲げた「個性輝くロータリー」は、RIテーマを踏まえて、ロータリアンも、ロータリアン以外の人、自分自身の個性を十分に発揮できるロータリーを目指すと同時に、他人の個性をも同じように重視する思いやりのある立ち振る舞いができるロータリーでありたいという思いから出た言葉です。

2830地区は小さな地区ですが、一人一人のロータリアン、ひとつひとつのクラブは、輝く個性を持っていると思います。素晴らしい体験を発信して魅力的なクラブづくりをしていきましょう。その担い手は、クラブの会長エレクトや幹事エレクトであり、次期地区リーダーは、個性輝く魅力的なクラブを作るための支援をしていきます。それがひいては多くの仲間を増やすことに繋がって

くでしょう。そして、こうした活動が継続性をもって次の年度に引き継がれることも重要になります。皆様のクラブにおいても、可能な限り継続性を意識していただければと思います。

そして、5つの重点項目は、

- ① ロータリーの行動計画(Action Plan)を理解し、推進しよう
- ② 参加し、交流し、行動することで、ロータリーを楽しもう
- ③ DEI+Belonging(帰属意識)を育もう
- ④ クラブでの体験を魅力的なものにしよう
- ⑤ 奉仕活動の継続性を意識しよう

です。先に述べたアーチックRI会長の重点事項をより具体的に実践することを目指しています。この中で、②の「参加し、交流し、行動することで、ロータリーを楽しもう」は、水野功RI理事エレクトが仰るロータリーの本質を言い表している言葉だと思っています。ロータリーを楽しむことを出発点として、それぞれの重点項目を実践していくことでいいのだと思います。

魅力的なクラブづくりのためには、クラブ会長、幹事の皆様の熱意とアイデアが重要です。他のクラブの奉仕活動も参考にしながら、自分のクラブだけでは十分な活動ができない場合には、合同例会や地区の組織や委員会を利用して、会員を楽しませる工夫をしていきましょう。楽しい場所に人は集まります。会員にとって居心地のいいクラブとすること、クラブでの経験を魅力的にすることで、沢山の仲間を増やすことに繋げていきたいと思っています。

そのために大切なことは、DEI(Diversity:多様性、Equity:公平性、Inclusion:インクルージョン)の推進です。今年度、地区にはじめてDEI推進委員会を設置しました。会員がクラブへの帰属意識を育むために、クラブのリーダーを中心にDEIを推進し、魅力的なクラブを作って行きましょう。地区ではそのお手伝いをするためのさまざまな方法を検討していきたいと思っています。

2026年7月1日までに地区内のロータリアンが1100名に達しなかった場合、隣接地区と合併することに同意するというRI理事会の決議を受けて、緊急事態宣言を発したところではありますが、小手先の会員増強に走ることなく、まずは魅力的なクラブづくりをして、ロータリアン一人一人の個性を輝かせ、クラブの個性を輝かせることで仲間を増やしていくことを目指したいと思っています。

そして年度が終わるときには、次のチームに魅力を繋げられるように、一緒に頑張っていきたいと思っています。

プロフィール

2024-25年度
国際ロータリー第2830地区ガバナー

花田 勝彦

氏名 花田 勝彦

クラブ名 五所川原ロータリークラブ

職業 弁護士法人さくら総合法律事務所 代表弁護士

職業分類 弁護士

出身地 青森県北津軽郡鶴田町

経歴 1968年8月28日 青森県弘前市生まれ(55歳)

1987年3月 青森県立弘前高等学校 卒業

1991年3月 金沢大学法学部 卒業

1998年3月 最高裁判所司法研修所 終了(第50期)

2002年1月 五所川原ひまわり基金法律事務所開設

2022年4月 弁護士法人さくら総合法律事務所設立

主な職務 一般民事、家事、刑事事件全般を取り扱う。

NPO法人青森県消費者協会理事長

ロータリー歴

2004年1月7日 五所川原ロータリークラブ 入会

2008-09年 クラブ幹事

2011-12年 クラブ会長

2015-20年 地区社会奉仕・職業奉仕委員長

2020-21年 地区幹事

褒章

メジャードナー レベル1

ポールハリス・ソサエティ

ポリオプラス・ソサエティ

米山功労者(マルチプル3回目)

趣味 ワイン 温泉巡り audible